

# データサイエンス入門

更新日：2025/01/18 17:03:57

開講年度	2025	学期	1期, 2期	科目コード	L5190	授業コード	L519001
担当教員	アサノ デービッド						
備考							

配当	学部/学科	大学 グローバルマネジメント学部, 大学 グローバルマネジメント学部 グローバルマネジメント学科, 大学 健康発達学部, 大学 健康発達学部 食健康学科, 大学 健康発達学部 こども学科					
	配当時期	—	曜日/時限	水曜日4限	単位	2	
	備考(配当)						

## 授業の概要

コンピュータやインターネットの発展と普及によって現代社会においてデータの正しい理解が不可欠になっています。この授業では、データサイエンスの概要や活用方法について説明します。データはどのような場面でどのように利用されているかが明らかになります。また、AIについても説明します。説明は基礎から入るので、専門知識がなくても分かる内容になっています。

## 到達目標

1	データが活用されている場面を説明できる
2	データの解析方法が説明できる
3	データの簡単な統計処理が行える
4	グラフからデータが説明できる
5	データのセキュリティ問題が説明できる

## キーワード

データサイエンス、データ解析、データの統計処理、データセキュリティ、AI

## 履修要件

PCの操作ができる、Excelの基本がわかる、学習に積極的に取り組める

## 教授方法

講義。演習。毎回、授業の最初に内容に関する説明をし、それに続きアクティブラーニングで課題に取り組んでもらいます。課題はPCを用いるので必ず持参すること。

## アクティブ・ラーニングの要素の有無

有

## 授業計画

1	授業の概要：授業の目的と進め方、社会でおきている変化：コンピュータの発達による社会の変化
2	社会で活用されているデータ：利用されているデータの説明
3	データとAIの活用領域：データの利用方法
4	データ・AI活用のための技術①：データ解析方法
5	データ・AI活用のための技術②：データ解析応用
6	データ・AI活用の現場：活用する場面や方法
7	データ・AI活用の最新動向：近年の話題
8	データを読む①：データの統計処理
9	データを読む②：誤差、統計情報の理解
10	データを説明する：グラフによる表現
11	データを扱う：データ解析ツール
12	データ・AIを扱う上での留意事項①：倫理、個人情報保護
13	データ・AIを扱う上での留意事項②：データの信頼性
14	データを守る上での留意事項：セキュリティ問題

## 教科書・テキスト

基本方針				
必須/推奨	書籍名/資料名	出版社	出版年月	備考
必須	教養としてのデータサイエンス 改正第2版	講談社	2024年12月	ISBN978-4-06-537939-4、¥1,980

## 参考書・参考資料等

## 授業外における学習

## ・事前学習

シラバスにそって教科書等を熟読し疑問点や不明な事項を把握して授業に臨むこと

## ・事後学習

授業内容を復習して、知識や実践力を培うこと

## 成績評価

共通の評価基準	【S】 基本的な到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果をおさめている。【A】 基本的な到達目標を十分に達成している。 【B】 基本的な到達目標をおおむね達成している。【C】 基本的な到達目標を最低限度達成している。【F】 基本的な到達目標を達成していない。再履修が必要である。	
評価項目	割合	評価基準
レポート	50%	授業内容に関する課題の達成度を評価基準とする
期末試験	50%	達成目標の項目を定期試験の評価基準とする
合計	100	

## 質問や相談への対応

授業の後で、質問・相談に応じます

## 受講生に望むこと

## その他・特記事項

(実務経験のある教員が授業を担当する場合のみ) 実務経験及びその内容